SPARTANによる 紫外可視光吸収スペクトルの予測

東京工業大学大学院 理工学研究科 有機・高分子物質専攻 **川内 進** (skawauch@polymer.titech.ac.jp)

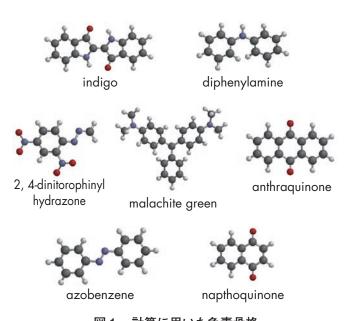
■序

密度汎関数法 (DFT) は、良好なコストパフォーマンスと大きな化合物の基底状態への適用可能性から、最もポピュラーな電子構造計算の手法になっている。現在、励起状態への応用を目指した研究が進められている。time-dependent DFT (TD-DFT) が有力で、一般に広く用いられはじめている。しかし、そのパフォーマンスは、電荷移動系では良くないな

ど、DFT 自体が持っている欠点を示しているようである。本研究では、紫外可視光吸収スペクトルの予測がどの程度できるか見る目的で Spartan'O8 for Windows に組み込まれている2つの汎関数、B3LYP と ω B97X-D を選択し、TD-DFT のパフォーマンスを見ることにした。

■ 色素骨格

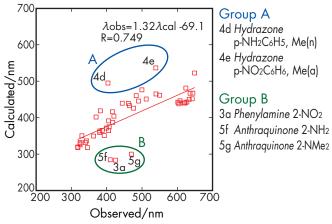
計算に用いた代表的色素骨格は図1に示した indigo, diphenylamine, 2,4-dinitrophenylhydrazone, malachite green cation, anthraquinone, azobenzene, naphthoquinonの7種である。また、置換基等の 効果を見るために、Adachiと Nakamura [1] および Matsuura ら [2] に従ってこれらの骨格に置換基を加 えたり、骨格原子を変えたりして50種の色素を選 択した。まず SPARTAN で構造を構築し、MMFF で 構造緩和した後、B3LYPと ω B97X-D それぞれにより、 構造最適化を行った。構造最適化および TD 計算の 基底関数には 6-31+G(d) を用いた。Spartan'08 for Windows は並列化に対応しているので、Windows7、 8cpuで計算を行った。構造最適化後、連続して TD 計算を行った。計算時間は化合物の大きさによって 異なるが、たいていの場合数時間で計算は終了した。 TD 計算の部分はまだ並列化されておらず、これも並 列化されれば PC で吸収スペクトルの TD-DFT 計算が 容易に行えるであろう。



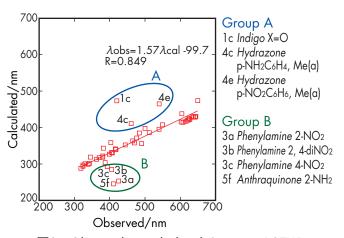
— 図1. 計算に用いた色素骨格

■ 結果と考察

結果を図 2 と 3 に示した。いずれも相関関係が見られる。しかし、図 2 に見られるように TD-B3LYP ではばらつきがより大きい。TD-B3LYP の相関直線は、 λ obs=1.32 λ cal -69、相関係数は r=0.749 であった。一方、図 3 の TD- ω B97X-D では、相関直線は、 λ obs=1.57 λ cal -100、相関係数は r=0.849 で相関が大きく改善されていることがわかる。これは汎関数自体の改善が励起状態へも有効であることを意味している。 ω B97X-D は B3LYP と同様、ハイブリッド型汎関数であるが、さらに長距離補正と分散力補正が加えられている。



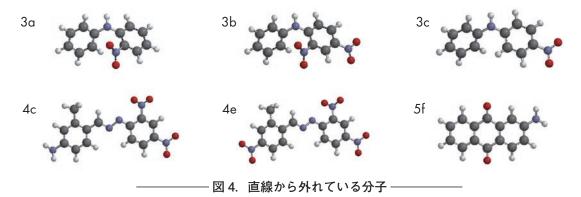
- 図2. Observed vs. calculated λ_{max} at TD-B3LYP -



– 図3. Observed vs. calculated λ_{max} at wB97X-D -

しかし、いずれの場合も相関から大きく外れてい る化合物がいくつか見られる。外れている化合物群 はいずれの場合も、2つに分けることができ、それ らを図中に楕円で囲んで示した。グループ A は吸収 極大を大きく見積もっているが、グループ B は小さ く見積もっている。外れている化合物の構造を図 4 に示した。これらに関しておもしろいことは、外れ ている化合物は ω B97X-DとB3LYPで共通するもの が多いことである。これらを詳細に見ると、色素骨 格としては、hydrazone、phenylamine、anthraquinone である。置換基としては、特に二トロ基を有するも のが多いことに気づく。ちなみにこれらの相関から 外れているグループを除いた相関は、TD-B3LYPでは、 λobs=1.87 λcal-292、相関係数は r=0.873 であっ た。一方、図 3 の TD- ω B97X-D での相関直線は、 λ obs=2.18 λcal -323、相関係数は r=0.978 で相関が 格段に改善されることがわかる。従ってこのような 欠点に注意して用いれば、 $TD-\omega B97X-D$ の相関は良 好であり、紫外可視光吸収スペクトルの予測に十分 用いることができるレベルにあると考えられる。

汎関数 ω B97X-D は、比較的新しいものであり、 長距離補正、分散力補正を加えてパラメータを新た に最適化したものである[3]。著者らによると基底 状態のパフォーマンスを調べた結果、熱力学、反応 速度、非結合相互作用においてこれまでの汎関数に 比べて優れていることが示されている。B3LYPに代わる新しい標準的汎関数になるかどうか、基底状態、励起状態共に今後の応用に期待したい。



一表. 計算結果および実測データ・

Indigo

Dye		B3LYP		wB97xD		Observed
		Wavelength	Intensity	Wavelength	Intensity	Observed
1a	X=NH	438	0.500	438	0.500	605
1b	X=NMe	523	0.335	474	0.348	650
1c	X=O	405	0.313	474	0.348	420

Azobenzene

DALL/D DOT D							
Dye		B3l	_YP	wBs	7xD	Observed	
			Intensity	Wavelength	Intensity		
2a	None	320	1.020	289	1.009	318	
2b	2-NH2	389	0.351	340	0.539	417	
2c	3-NH2	403	0.102	318	0.243	370	
2d	3-NO ₂	321	0.641	289	0.966	317	
2e	4-Cl	330	1.174	295	295.180	324	
2f	4-CN	333	1.188	297	1.236	324	
2g	4-Me	327	1.125	295	1.082	324	
2h	4-NEt2	376	1.325	331	1.289	407	
2i	4-NEt2-4'-NO2	446	1.145	357	1.490	490	
2j	4-NH2	351	1.200	313	1.144	363	
2k1	4-NHMe	365	1.211	323	1.165	380	
2k2	4-NHMe	360	1.279	320	1.230	380	
21	4-NMe2	372	1.258	328	1.243	399	
2m	4-NMe2-4'-NO2	440	1.097	353	1.439	444	
2n	4-NO ₂	352	1.001	301	1.204	329	
20	4-OH	333	1.149	300	1.082	339	
2p	4-OMe	337	1.215	302	1.152	342	

Phenylamine

Dura		B3LYP		wB97xD		Ohaamiad
	Dye		Intensity	Wavelength	Intensity	Observed
3a	2-NO ₂	285	0.182	254	0.198	425
3b	2, 4-diNO ₂	365	0.429	286	0.601	405
3с	4-NO ₂	352	0.631	294	0.770	393

Hydrazone

Dye		B3L	YP.	wB9	wB97xD	
		Wavelength	Intensity	Wavelength	Intensity	Observed
4a	H, H(anion)	477	0.103	399	0.138	500
4b	H, H(neutral)	319	0.578	320	0.183	345
4c	p-NH2C6H4, Me(a)	440	0.205	411	0.195	461
4d	p-NH2C6H5, Me(n)	495	0.149	359	0.676	403
4e	p-NO ₂ C ₆ H ₆ , Me(a)	536	0.652	465	1.576	540
4f	p-NO ₂ C ₆ H ₇ , Me(n)	419	0.574	344	0.908	382

Anthraquinone

Dye		B3L	YP.	wB9	7xD	Observed
		Wavelength	Intensity	Wavelength	Intensity	Observed
5a	1-NH2	433	0.170	364	0.228	465
5b	1-OH	392	0.172	333	0.229	405
5c	1, 2-diOH	417	0.123	342	0.189	416
5d	1, 4-diNH2	462	0.322	408	0.368	550
5e	1, 4-diOH	427	0.274	372	0.337	476
5f	2-NH ₂	285	0.384	246	0.468	410
5g	2-NMe2	300	0.446	358	0.129	470

Nopthoquinone

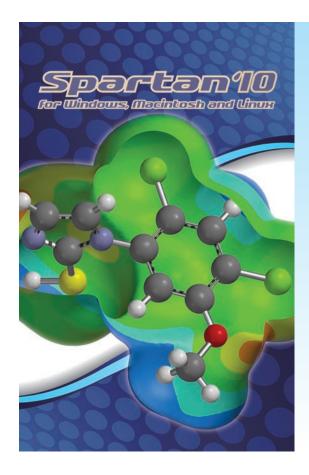
Dye		B3L	YP.	wB9	7xD	Observed
		Wavelength	Intensity	Wavelength	Intensity	
6a	2, 3-diCl-5-NH2-8-OMe	465	0.156	396	0.185	540
6b	5-NH ₂	461	0.130	386	0.162	484
6c	5-NH2-8-OMe	452	0.113	387	0.161	512
6d	5-OMe	366	0.083	305	0.105	387

Malachite green

Dye		B3L	_YP	wB97xD		Observed	
		Wavelength	Intensity	Wavelength	Intensity	Observed	
7a	None	440	1.381	420	1.304	621	
7b	2-NO ₂	467	0.440	429	1.375	637	
7c	2-OMe	481	0.121	426	1.205	625	
7d	2, 2'-diMe	451	1.277	431	1.219	634	
7e	3-OMe	441	1.304	421	1.279	622.5	
7f	4-CI	444	1.353	422	1.302	627.5	
7g	4-CN	452	1.305	429	1.330	643	
7h	4-Me	441	1.329	418	1.268	616.5	
7i	4-NO ₂	468	1.010	431	1.331	645	
7j	4-OH	442	1.273	416	1.224	602.5	
7k	4-OMe	447	1.182	415	1.188	608	

文献

- 1. M.Adachi and S. Nakamura, Dyes and Pigm.17 (1991) 287.
- 2. A. Matsuura, H. Sato, W. Sotoyama, A. Takahashi and M. Sakurai, THEOCHEM 860 (2008) 119.
- 3. J.-D. Chai and M. Head-Gordon, Phys. Chem. Chem. Phys. 10 (2008) 6615.

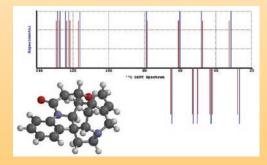


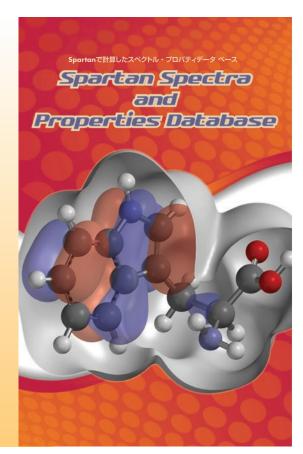
NEW In Spartan'10

- 軌道エネルギーダイヤグラム表示
- [Surface] ダイアログの改善により主なサーフェスは1クリックで設定可能に
- 求核選択性の探索に使用可能なハイドライドポテンシャルサーフェスの導入
- ●サーフェスの切り抜き機能
- データベースの構造と反応の検索条件の改良
- IRスペクトルデータベースの検索方法の改良
- 分子/原子のプロパティおよびQSARプロパティの拡張
- PM6半経験パラメータ
- 熱化学レシピT1にケイ素(Si)、リン(P)の導入
- ラマンスペクトルの計算/表示機能
- NMRスペクトル表示の拡張:DEPT、HSQC、HMBC
- ¹³C化学シフトの計算精度向上
- データマイニング機能:統計解析とグラフ化の拡張
- Spartan Spectra and Properties Database(SSPD)*¹へのインターフェイス IR/NMRスペクトル、分子/原子プロパティ、QSARプロパティを内蔵
- ●ドキュメント(Tutorial、Problems)の内包化
- WikipediaをSpartan画面から検索、表示
- HFおよびDFTにおける振動解析、およびRI-MP2における並列化処理
- フル64bitインプリメンテーション
- 複数ファイルの表示時にタブベースの管理を設定可能

Spartan Spectra and Properties Database

Spartan Spectra and Properties Database (SSPD) は分子量500amuまでの有機低分子約75,000件に対して赤外、およびNMRスペクトル情報と様々な原子分子レベルのプロパティや構造活性相関で使用可能な各種プロパティを内蔵したデータベースで、そのすべてのプロパティはあらかじめSpartanで計算して得られたものです。各々のデータは11熱力学的レシピによって得られた最安定の配座を元にして、EDF2/6-31G*密度汎関数法により、求められています。データベースのそれぞれのエントリーは波動関数も保有しているので、分子軌道図や静電ポテンシャルマップなどのグラフィックスをすばやく「On-The-Flyに」計算し、表示することができます。SSPDはSpartan'10から部分構造、分子名、分子式から検索することができるほか(分光器から得られた)赤外スペクトルを検索条件とすることもできます。データベースの検索結果はリスト表示され、その候補をいつでもすぐに取り出すことができます。







〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-2 BUREX麹町 Tel 03-3239-8339 Fax 03-3239-8340 E-mail japan@wavefun.com